

渡島國

箱館 龜田郡ニ在リ、文安二年、龜田郷領主河野加賀守政季之ヲ築ク、東西三十五間、南北二十八間、七重濱ヨリ望ハ其狀箱ノ如シ、故ニ呼テ箱館ト爲ス、舊名ヲ云其子季通ノ時、永正八年夏四月、蝦夷ト戰テ敗レ自殺シ、館廢ス、幕府ノ時箱館奉行邸ハ、即河野氏ノ館址ニシテ、今ノ支廳是ナリ、
略○中

富山泉 函館ニ在リ、文化三年、箱館奉行支配調役富山元十郎、箱館山中ノ水ヲ引キ市街ニ分ツ、

箱館奉行羽太正養石ヲ建テ之ヲ記シ、屋代弘賢書并題額、中略按ニ、此碑蝦地松前氏ニ復セシ日、

テ高龍寺ノ稍舊ニ復セリ、今支廳及ヒ其他ニ引テ井ト爲セリ、

鼎泉 函館大町ニ在リ、文化四年春箱館奉行戸川安論、羽太正養之ヲ鑿ツ、正養ノ書記、高坂元禎

記ヲ作リテ井幹ニ刻ム、○中

釧路國○中

義經橋杭 釧路海中ニ在リ、暗礁二條海中ヘ斗入ス、潮退ケバ現ル、土人云、昔源義經十勝岬ヘ橋ヲ架セントセシ時ノ柱跡ガリト、天造ト雖モ實ニ奇ト云ベシ、

盤螺山 厚岸郡ニ在リ、安政年間官吏喜多野省吾山道ヲ開鑿シ、萬延紀元庚申夏五月、官吏鈴木

善教文ヲ作テ之ヲ記ス、○中

根室國

義經事跡 オシヨマウノ地ハ、義經鯨ノ流寄シテ切リ、蓬ノ串ニ刺シテ燒キシ所ナリト、エシヨマト、シ跡ナリ○中略

千島國

髯塚 擇捉郡ニ在リ、歸化ノ蝦夷剪ル所ノ鬚髯ヲ聚テ斯ニ埋ム、文化四年三月、箱館奉行安藝守

羽太正養、石ヲ建テ之ヲ誌ス、高四尺五寸、横一尺三寸、○文